

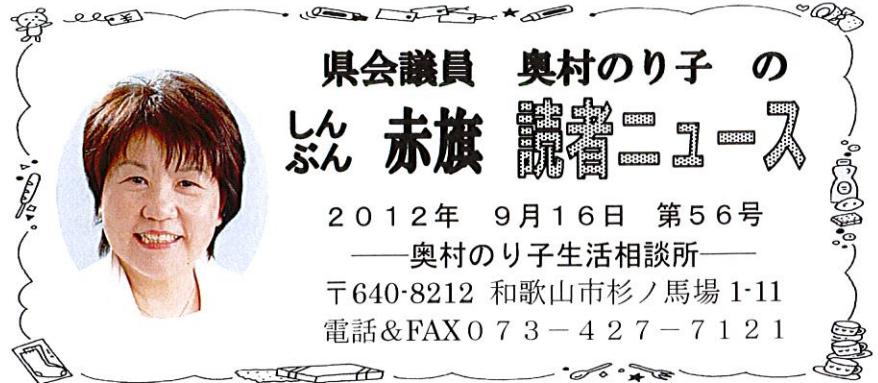
7万人の街が今1万程度に海側は低く山側は高い放射能

南相馬市は福島第一原子力発電所から10キロ・20キロ・30キロ圏内を含む地域

です。人口は7万人余、原発事故後は集団避難や自主避難で一万人程度になりました。現在は自由に立ち入りできるようになつたものの居住することはできません。

県議会員 奥村のり子 の しんぶん 赤旗 読者ニュース

2012年 9月16日 第56号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
電話&FAX 073-427-7121



のり子の 福島視察報告

市独自で大気中の放射線量を測定しています。多くの地点で1マイクロシーベルト／毎時を下回っていますが、海側は低く、山側は高い傾向です。写真左は公民館前のモニタリングポストです。近くの側溝では持参の線量計（写真右）で測定すると3倍にもなります。

申し合わせにより 私の一般質問なし

一常任委員会の傍聴を—

安心して住めるまで気の遠くなれる除染作業が必要です。住民の住む権利を奪った東電と国はまず人災と認めるべきです。原発ゼロを求めるみなさんといっしょにがんばります。（つづく）

9月県議会

9月定例会が始まりました。約25億7千万円の補正予算と30件の条例案件など提案されています。公文書の閲覧等にかかる手数料を定める問題が出てきています。慎重な審議が求められます。

党県議団では毎議会4人全員が一般質問を行ない、みんなの切実な暮らしの要望を届けたいと考えていますが、「会派間のバランス」を理由に残念ながら党会派は3人までという申し合わせになっています。制限なく一般質問ができるようになります。

そんなわけで今回、私は一般質問できませんが、福祉環境常任委員会でみんなの声を届けて参ります。

9月14日 議会休会、市駅・吉宗公像前朝宣伝、県党社会保障部会
15日 倂ぶ会、講演会
16日 調査
17日 調査
18日 一般質問予定（松坂県議）
19日 議会休会、調査
20日 一般質問予定（松坂県議）



（主なもの）

党市議会議員

南畠 さち代



18日

阪南市民の怒 反映し質問します

9月市議会 Relay talk

産廃業者の不誠実な 説明会の対応について

鳥取の連合自治会から要望書が出され、また、7日には住民の有志

の方からも説明会の録音CDと内容の概要が市長及び議長と各会派に提出されています。私もその内容を聞いて業者の態度に不信を抱きました。和歌山市として業者に説明責任を果たすよう指導すべきと求めます。

②遮水シートについては、全国で破損事故が起きています。環境省の法令に義務づけがないとはいえ設置する上で、「自社基準のものでよし」とするのか、環境省の技術基準に示された方法を取るべきだと求めます。

滝畠産廃処分場の許認可権は和歌山市ですが、大阪の住民にまで不安を及ぼす処分場建設は許されません。私の質問は18日（火）午前10時からの予定です。是非当日の傍聴をお願いします。

